

令和6年度 第1回 東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月13日（月） 午前9時から午前10時50分まで
- 2 開催場所 東小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、今中 秀裕、中川 清子、中村 将義、杉山 晴康、
佐原 寛美、竹山 有希
- 4 欠席委員 高木 邦子、松下 克幸
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター長）
- 6 学 校 大石 泰三（校長）、平野 晶子（教頭）、
舩越 裕康（CS担当教職員）、原 真衣子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 原 真衣子
- 10 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小名木会長が務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
(1) 学校運営の基本方針・東小いじめ防止基本方針について
(2) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
(3) 学校運営協議会の自己評価・本年度の目標について
(4) 学校運営協議会の支援について
- 12 会議記録
司会のCS担当教職員から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針・東小いじめ防止基本方針について

■ 説明（校長）

- 学校教育目標「やさしさ 元気 夢いっぱい」に向かって継続して取り組んでいく。
目指す子供の姿は、やってみたいと考えともに動く子。昨年までの目標に「ともに」の言葉を加えることで、多様性を認め合い、みんなで協力することや協調の心を育んでいきたいと考えている。
- 東小が教育委員会の研究指定を受けることになった。今後ともいじめや不登校が生まれにくい温かな学校・学級風土づくりに励んでいく。子供たちにとって授業が楽しいと思えるようにしていきたい。いろんな意見があり、その考えを誰もが発信し認めることができる風土づくりが重要だと感じている。また、ピアサポート活動も継続的にやっていく。
- いじめはいつでもどこでも起こりうるという認識で常にアンテナを張っている。未然防止に

努め、起こってしまったときには早期発見し、見逃しゼロにする。心の天気アンケートを毎月行うことに加え、何か起こったときにはその都度迅速な対応を心掛けている。インターネット上のトラブルはなかなか学校では把握しにくい。家庭で気になることがあれば、いつでも相談してもらおうと呼び掛けている。

■ 熟議

- 挨拶運動に参加していると、いろいろな子供がいると感じる。学習やしつけは家庭がすべきもので、学校はその延長にあるもの。教職員の負担の軽減も地域として考えていけないといけないことではないか。(会長)
- 学校運営協議会も3年目に入って、議論も進んできた。私たちができることは、新しく芽生えてきたことを、自信を持って力強く広めていくことだと思う。(杉山委員)
- いじめへの取り組みがとてもきめ細やかで良いと感じた。子供たちにスマホなどを持たせる場合の注意喚起は学校として行っているのか。トラブルの要因にもなるので、PTAなどで研修を行ったらいいいのではないかなと思う。(今中委員)
- スマホだけに限らず、ゲーム機もインターネットにつながっており、現代の子供たちをインターネットの世界と完全に分離することはできないので、うまく付き合っていくしかないと考えている。学校では懇談会の中で保護者と一緒に子供にスマホ講座を行うことに加え、定期的に情報モラルを学ぶ機会を設けている。ただ、ネット上のトラブルは家庭で解決してもらうものだとは保護者へ伝えている。(校長)
- スマホを子供に与えるのなら、親がきちんと管理すべきだと思う。最近は学校から帰った後、地域に子供の居場所がないように感じるので、子供の憩いの場があったら良いと思う。地域で子供を見守ったり育てたりできるよう、大人がその方法を考えていけないといけない。(杉山委員)
- 他学年とのコミュニケーションがもっと活発になるといいと感じている。年長者が年下の面倒をみたりする様子があまりみられない。学年を超えた交流を持つ機会が少ないので、学校・自治会・PTA・子供会など様々な活動の中で、接点を増やしていくことが重要だと思う。また、家でしつけの時間がとれない家庭も多いかもしれないが、もっと家庭内でのコミュニケーションをとっていく必要があると感じる。(中村委員)
- 子供会の活動は以前に比べて縮小傾向にある。役員の引き受け手も少なく、会の継続が難しいところもあるのが現状であると感じている。(会長)
- 18年図書ボランティアに携わったが、最近は本を読む子供が少なくなっているように感じる。業間休みなどは外に出るように指導しているのか。(佐原委員)
- 天気が良い日は外に出ましようとして指導している。天気に応じた活動を行っている。(校長)
- 授業についていけない子の対応はどのようにしているのか。(佐原委員)
- 東小には支援員が3名おり、教室に入って児童に付き添って学習の手助けをしたり、保護者の同意を得たうえで取り出し授業を行ったりしている。また、他学年との交流が欲しいという意見があったが、学校ではポプラグループを編成し、たてわり活動に取り組んでいる。ポプラ清掃やポプラグループ遊びを通して、異学年交流を進めている。(校長)

- 挨拶運動をしているときに子供たちの様子を見てみると、リーダーがもう少し注意を払った方がよいのではないかと感じる時がある。そのようなときはどのように対応したらよいか。(佐原委員)
- 校門で声掛けをしていると、褒められた児童を見て周りもそれを真似するということがある。子供はみんな褒められたい気持ちがあるので、悪い面を直接指摘するよりも、良い行いをしている子供を褒めることで子供たちの意欲を高めていくとよいのではないかなと思う。(校長)
- 放課後児童会は、ほっとする場でありたいと考えている。いろんなことが起きるが、保護者と直接会話してやり取りできるのが良い面だと思うので、普段の様子や気になったことはそのまま保護者に伝えるようにしている。(中川委員)

(2) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

教頭から、地域との連携事業を継続して行っていく旨の説明があった。今後も、地域に出向いて体験活動をしたり、地域の方に学校に来ていただいて体験活動を行ったりする機会を設けていくことを確認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価・本年度の目標について

前年度の自己評価をもとに、本年度の目標について確認を行った。

(4) 学校運営協議会の支援について

■ 熟議

- 学校からの情報発信について、紙媒体だと目に届かない場合もあるので、ブログなどに載せることを継続していくのが良いと思う。さくら連絡網をより使いやすいアプリに変更できないか、浜松市に提言してみてもどうか。(中村委員)
- クリエイトはいろんな組織が入っている。いろんな団体があったり、いろんな人がいたりする。机があって誰でも利用できるのも、子供たちの居場所にもなっていけたらいいと思っている。(佐藤オブザーバー)

○ 学校支援コーディネーターからの報告

4月末にポプラ講座の先生方への連絡を行った。

○ その他

司会から、次回会議は、令和6年6月12日(水)午後1時20分から東小学校会議室で開催する旨の報告があった。当日は参観会があるので、子どもたちを直接見ていただけるいい機会であると考えている。

次回議長については、委員から今中議員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。